

# 平成 23 年度 事業報告

## 1 調査研究事業

### (1) 調査研究活動

山村・林業に係る森林環境教育アクティビティに関する調査

(助成者) (社)国土緑化推進機構

(期 間) 平成 22 年 9 月～平成 23 年 8 月

(概 要) 山村や林業に係る森林環境教育アクティビティについて調査、検討を行い、新たな森林環境教育アクティビティを取りまとめた。

### (2) 他団体の研究活動等への参加

事業活動に活かすため、他団体が主催する研究活動等に参加。

- ① 森林共生フォーラム
- ② 子ども樹木博士認定活動推進協議会
- ③ NPO 法人 自然体験活動推進協議会
- ④ NPO 法人 ウィンターレジャーリーグ

### (3) 参考図書の発行・普及

小学校において山村や林業に関する体験学習を楽しく、わかりやすく進めるための「林業・山村から学ぶ続森林環境教育アクティビティ集」を刊行するとともに、既刊の「森林・林業体験の基礎」、「森林環境教育の手引き」、「森林体験活動指導者のための安全管理ハンドブック」、「森林環境教育アクティビティ・プログラム集」等の普及に努めた。

## 2 普及啓発事業

### (1) 機関誌（情報誌）の発行等

機関誌（情報誌）「森林レクリエーション」を毎月発行し、会員をはじめ関係機関等に配布（No.287(2011年4月)～No.298(2012年3月)）。

また、森林のレクリエーション利用等に関する各種情報の収集とともに、ホームページの適時の更新・充実に努めた。

### (機関誌(情報誌)の主な掲載情報)

- ① 森林レクリエーション活動に関する情報
  - 日本のスノースポーツのこれからを考える(下) (No. 287)
  - マウンテンバイクと森林利用 (No. 293、294)
  - マウンテンバイクと森林の未来 (No. 295)
- ② 森林環境教育・健康等に関する情報
  - 森林インストラクターの活動 (No. 287、288、292、298)
  - 第23回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の活動  
(No. 293、294、295、296)
- ③ 森林を活用した地域振興等に関する情報
  - 平成23年度の緑の雇用事業の実施について (No. 291)
  - わがまち：森と丘が奏でる美しい村(北海道美瑛町) (No. 291)
  - わがまち：美しい自然につつまれた雪と温泉の町、湯沢(新潟県湯沢町)  
(No. 292)
  - わがまち：人あったか まちいきいき 自然つやつや 自然を最大限活用した「日本人の心地よいふるさと」を目指して(静岡県伊豆市)  
(No. 293)
  - わがまち：自然災害等への対応：晴天の霹靂(群馬県川場村) (No. 294)
  - わが社：度重なる自然災害への対応と今後の取り組みについて(当間高原開発(株)) (No. 294)
  - わがまち：四万十源流の地、梶原町における森林セラピーの取り組み

(高知県梶原町) (No. 295)

- わが社：蔵王温泉スキーリゾートの点と線(蔵王ロープウェイ(株))  
(No. 297)

④ 森林・林業に関する行政等の情報

- 海外における植林協力活動について (No. 287、288)
- 国有林における国民参加の森林づくりについて (No. 289)
- 平成 23 年度林野庁森林環境教育関係予算の概要 (No. 289)
- 平成 22 年度森林・林業白書について (No. 290)
- 森林法の一部改正について (No. 292)
- 森林総合利用推進事業について―里山林の再生に向けて― (No. 297)
- 緑の循環認証会議(SGEC)認証制度の見直しについて (No. 298)
- 今後の国有林野の管理経営のあり方について(林政審議会答申)  
(No. 298)

⑤ 当協会に関する情報

- 平成 23 年度の森林インストラクターの資格試験及び養成講習の実施  
(No. 287)
- 第 23 回森林レクリエーション地域美化活動コンクール受賞団体の決定  
・プロフィール (No. 288、289)
- 第 26 回通常総会の開催 (No. 290)
- 平成 23 年度森林インストラクター資格試験合格者の発表 (No. 296)
- 第 25 回森林レクリエーション全国研修会の開催 (No. 297)

(2) 第 24 回森林レクリエーション地域美化活動コンクールの実施

都道府県や森林管理局、当協会支部を通じて、森林レクリエーション地域において積極的に美化活動を行っている学校、地域グループ、職場グループ等のボランティア団体等を公募（締め切りは平成 24 年 2 月末日）。

応募総数 22 団体（都道府県推薦 16 団体・森林管理局等推薦 6 団体）について審査委員会による審査の結果、次の受賞団体を決定。

- 農林水産大臣賞（1点）  
大阪府池田市 五月山グリーンエコー
- 林野庁長官賞（2点）  
長野県松本市 上高地を美しくする会  
滋賀県長浜市 横山はらっぱ倶楽部
- 協会会長賞（6点）  
岩手県久慈市 くじ・川の会  
茨城県笠間市 あたご四季の会  
長野県下諏訪町 八島高原を美しくする会  
静岡県沼津市 六軒町自治会「千本保安林監視員」  
静岡県浜松市 椎ノ木谷保全の会  
広島県広島市 プロジェクト武田山

(3) 第25回森林レクリエーション全国研修会の開催

テーマ 「信越地域の高原地帯における森林レクリエーション事業」

開催時期 平成23年11月1日(火)～2日(水)

開催場所 長野県長野市、新潟県妙高市

参加人員 13人

研修内容 第1日（11月1日）

- 長野市における視察等  
善光寺、戸隠森林植物園など

第2日（11月2日）

- 妙高市における視察等  
妙高高原スカイケーブル、笹ヶ峰自然休養林など

(4) 森林環境教育ネットワーク事業

平成19～21年度に実施した森林環境教育推進総合対策事業（林野庁補助事業）の実施結果を受けて、引き続き森林環境教育の推進に資するため、

活動団体等のネットワーク化を図るためのウェブサイトの運営、メールマガジンの配信、パンフレットの配布等の普及啓発活動を実施。

- ① ウェブサイト「森で学ぼう！森林環境教育ネットワーク」の運営

URL：<http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

- ② メールマガジンの配信

第 67 号(平成 23 年 4 月 5 日)～第 83 号(平成 24 年 3 月 15 日)

- ③ パンフレット「森林環境教育のすすめ」等の配布

(5) 子ども樹木博士認定活動への支援

子ども樹木博士認定活動の目的等をPRするとともに、情報交流等により本活動を全国的に推進する「子ども樹木博士認定活動推進協議会」の事務局として、①機関誌「子ども樹木博士ニュース」の発行、②実施機関や活動計画等の登録、③子ども樹木博士認定証や「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の提供、④インストラクターの紹介等の活動を実施。

(6) 「森林共生フォーラム」の活動への支援

森林と人との共生に関する総合的な調査研究、情報の収集・提供、研修会等を行う「森林共生フォーラム」の事務局として、研究会や現地研修会の開催等の活動を実施。

森林共生フォーラム：平成 23 年度の活動状況

研究会等の開催	テ ー マ ・ 講 師 等
第 1 回研究会 ( 2 月 18 日 )	「国有林野事業特別会計について」 講師 林野庁国有林野部 経営企画課長 鈴木 信哉 氏

<p>第2回研究会 (5月20日)</p>	<p>①「平成22年度の森林・林業白書について」 講師 林野庁企画課 課長補佐(年次報告班) 福田 淳 氏</p> <p>②「緑の雇用担い手対策について」 講師 全国森林組合連合会担い手雇用対策部 担い手対策課担当課長 大川 廣喜 氏</p>
<p>第3回研究会 (7月27日)</p>	<p>①「マウンテンバイクと森林利用」 講師 GALLUP (ギャラップ) 代表取締役 山本 浩二 氏 (株)モトクロスインターナショナル マーケティングマネージャー 松阪 佳彦 氏 プロ・マウンテンバイクライダー 井手川直樹 氏 シマノセールス(株) 営業二課 黒川 邦彦 氏</p> <p>②「外国資本による森林買収について」 講師 林野庁森林整備部 計画課長 本郷 浩二 氏</p>
<p>現地研修会 (11月1～2日)</p>	<p>開催場所 長野県長野市：善光寺、戸隠森林植物園等 新潟県妙高市：妙高高原スカイケーブル、笹ヶ峰自然休養林等 (協会の全国研修会に併せて開催)</p>
<p>第4回研究会 (12月20日)</p>	<p>①『『緑の循環』森林認証制度の現状について』 講師 一般社団法人 緑の循環認証会議 理事 中川 清郎 氏</p> <p>②「東日本大震災の影響とその対応について」 講師 群馬県 片品村 村長 千明 金造 氏</p>

#### (7) 巨樹・巨木保護運動への支援

国有林野内の巨樹・巨木の保護に資することを目的とする「巨樹・巨木保護中央協議会」の事務局として、情報連絡等の活動を実施。

#### (8) 森林倶楽部への協力

森林管理局が主催する森林倶楽部の円滑な実施に資するため、参加者の傷害保険への加入に協力。(東北森林管理局：開催回数2回、加入者57人)

(9) 他団体主催行事への後援等

- ① 国際森林年&ボランティア国際年+10 記念「世界森林アクション・サミット」—森林と市民を結ぶ全国の集い2011inTOKYO— (後援)  
平成23年10月8～10日 (国立オリンピック記念青少年センターなど)
- ② ウインターリゾート2012 (後援)  
平成23年11月4～6日 (池袋・サンシャインシティ コンベンションセンター)
- ③ 平成23年度国有林野事業業務研究発表会 (協会会長賞の授与)  
平成23年11月17日 (林野庁)
- 全国森林レクリエーション協会会長賞  
(国民の森林部門)  
課題名 地域のもりから学ぶ森林づくり—森林の多様性を学ぶ—  
受賞者 北海道森林管理局  
石狩地域森林環境保全ふれあいセンター 志鎌 睦 氏  
札幌市立定山溪中学校3年 宮野亮太郎 氏  
2年 佐藤絵美里 氏
- ④ 全国森林インストラクター会創立20周年記念式 (森林インストラクター資格の社会的な高揚等に功績のあった5名の者に感謝状を贈呈)  
平成24年2月26日 (プラザ・フォレスト(全林野会館))

### 3 森林インストラクター等人材育成事業

(1) 森林インストラクター養成講習の実施

森林インストラクターの審査を受けようとする者の知識や技能の水準の向上を図るため、「森林」、「林業」、「森林内の野外活動」及び「安全及び教育」の全4科目について講習を実施。講習修了者は、申請により「森林活

動ガイド」として登録、また申請により自然体験活動推進協議会(CONE)の「CONEリーダー」としても登録。なお、森林インストラクター養成講習は、平成17年度から、いわゆる環境教育等促進法に基づく「人材育成事業」として農林水産大臣並びに環境大臣の登録を受けて実施。

平成23年度の実施状況は次のとおり。

- ① 養成講習の公募案内の開始（平成23年2月1日）
- ② 養成講習受講者の募集開始（平成23年4月1日）
- ③ 養成講習の実施

区 分	科 目	期 間	日 数	場 所	受 講 者 数
科目別講習	森 林	5.14～5.16	3	東京都文京区 プラザ・フォレスト (全林野会館)	100人
	野外活動等	5.28～5.30	3		71人
	林 業	6.11～6.12	2		78人
全科目講習	4 科 目	8.13～8.20	8		62人

## (2) 森林活動ガイド養成事業

自然体験活動の指導者の確保が求められている中で、森林体験活動の指導者・パートナーである「森林活動ガイド」を養成。森林インストラクターの養成講習に併せた講習会を実施。講習修了者は、申請により自然体験活動推進協議会(CONE)の「CONEリーダー」としても登録。

### ○ 森林インストラクター養成講習に併せた講習会

森林インストラクター養成講習において森林活動ガイド養成講習の内容を盛り込んで実施。

- ① 平成23年5月14日～6月12日（うち8日間） 受講者数 61人
- ② 平成23年8月13日～20日 受講者数 62人

## 4 平成23年度森林インストラクター資格認定事業

受験申込者数は559人（前年度641人）、合格者数は157人（同171人）で、平成3年度からの合格者数の累計は3,532人。合格者は、登録により「森林

インストラクター」の称号が付与されるとともに、申請により自然体験活動推進協議会(CONE)の「CONE インストラクター」としても登録。なお、森林インストラクター資格試験は、平成17年度から、いわゆる環境教育等促進法に基づく「人材認定事業」として農林水産大臣並びに環境大臣の登録を受けて実施。

平成23年度の実施状況は次のとおり。

- ① 資格試験の公募案内の開始（平成23年2月1日）
- ② 資格試験受験者の募集開始（平成23年6月1日）
- ③ 一次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	申込者数
9月25日	札幌市	北海道経済センター	17人
	東京都	青山学院大学	307人
	名古屋市	東海工業専門学校金山校	49人
	東大阪市	大阪商業大学	113人
	高知市	高知グリーン会館	13人
	福岡市	(財)アクロス福岡	48人

- ④ 二次試験の実施

期 日	試 験 地	会 場	受験者数
11月19～20日	東京都	プラザ・フォレスト(全林野会館)	165人

- ⑤ 合格者の審査・決定（平成23年12月2日）
- ⑥ 合格者の公表・登録開始（平成23年12月7日）

## 5 支部総会等の開催

### 支部総会・研修会等の開催状況

支部名等	開 催 日	開 催 地 等	本部出席者
道 央	23年11月22日	札幌市	伴理事長

旭川	23年6月3日	旭川市	伴理事長
帯広	23年7月11日	北海道足寄町	伴理事長
函館	23年8月5日	函館市	伴理事長
青森 (研修会)	23年12月15 ～16日	山形市(蔵王温泉等)	伴理事長
秋田 (研修会)	23年12月15 ～16日	山形市(蔵王温泉等)	伴理事長
前橋	23年8月29日	前橋市	伴理事長
東京	23年7月6日	東京都江東区	伴理事長
長野	23年6月29日	長野市	伴理事長
四国 (研修会)	23年11月16 ～17日	愛媛県松野町	
賛助会員 研修会等	23年2月18日等	東京(森林共生フォーラム「研究会」への参加等)	

(注) 青森支部と秋田支部の研修会は合同で開催。大阪支部及び九州支部等は別途実施。

## 6 陳情・要望等の活動

支部を通じた要望事項や会員等からの照会事項について、林野庁等関係機関へ要請・照会等を実施。

## 7 会員組織の状況

### 平成23年度における会員数の異動状況

区分	平成22年度末	入会	退会等	平成23年度末
会員	261	1	11	251
賛助会員	18	-	1	17
合計	279	1	12	268

(注) 退会等には、事業の休止等に伴う減(2)を含む。

## 8 一般社団法人への移行認可の申請等

(1) 平成 23 年 6 月 1 日開催の第 26 回通常総会において当協会の財務の問題を検討して見通しが立てば公益社団法人へ、困難であれば一般社団法人への移行を選択することとされたことを踏まえ、同年 10 月 24 日開催の第 27 回臨時総会において、①一般社団法人への移行、②定款の変更の案、③その他関連規程等の変更・修正について承認、併せて一般社団法人への移行認可の申請後の一部修正等への対応については会長に一任することが承認された。

(2) これを受けて、平成 23 年 11 月 15 日に内閣総理大臣に対し一般社団法人への移行認可の申請を行い、これに関するヒアリングや幾多の修正手続等を経て、平成 24 年 3 月 22 日に内閣総理大臣から一般社団法人としての認可書が交付された。(平成 24 年 4 月 1 日に「一般社団法人全国森林レクリエーション協会」への移行の登記)